

住まいのかわら版

Vol.46
2026年6月号

OGIKEN

<発行>

株式会社 荻野建築企画

戸田市上戸田1-1-17

TEL.048-445-5277

FAX.048-445-5865

食器棚の中を見直して使いやすくしませんか？

雑多になりがちな食器棚。使うモノを選び、機能的に収納すれば、暮らしのストレスも解消されます♪

皆さまに暮らしと住まいを快適にするためのちょっとした役立つ情報をお届けいたします。今回のテーマは「食器棚内の見直し」です。

なんとなく使っていると、お皿を重ねすぎたり、奥にやったりで使いづらいことも。そこで、機能的な使い方のヒントをご紹介します。

食器の量や種類を把握し 優先順位を考えて収納

●食器を出してみる…まずは、何がどれくらいあるのかを把握しましょう。一度にすべて出すのが大変なら、ひとつの棚からでもOK。判断するなかで、日常で使うモノ、使わないモノ、使うかどうか迷うモノに分け、迷うモノは箱に入れて一時保管を。保管した食器は期間を決めてそれまで一度も使わなければ潔く処分しましょう。家族で使うモノは、一緒に判断するのも良いですね。

●日常で使うモノを、いざい収納…扉のある食器棚で、いちばん使いやすいのは目から腰の高さで、中段あたり



りだそうです。そこに、使用頻度の高い食器を入れましょう。陶器やガラスの皿など、重めの食器は下の方に入れた方が、出し入れするときに負担が少なくなります。

●食器を重ねすぎない…お皿を棚の中心に重ねると、下のモノが取りづらく、おのずと使用に偏りが。種類ごとに家族分だけなど数を減らして重ねれば、まんべんなく使え、全体の把握もしやすいです。また、コの字



いただいた食器で素敵なモノなら、もったいないと思わず、使ってみましょう！気分が上がるかも!?

ラックを使えば、棚の中を上下に仕切れるので、分類しやすく、重ねる枚数も減らせます。ディッシュスタンドなどを使い、立てて収納することもおすすめです。

便利なアイテムで 出し入れしやすく収納

●棚の奥をどう使う?…デッドスペースになりがちな奥の空間を、使いやすくする知恵として

①奥に使用頻度が少ないモノを置き、手前には少し高さのあるプラスチックのカゴなどに普段使いのお皿などをまとめて入れます。奥のモノを使うときは、そのカゴごと出せば、ラクに出し入れできます。

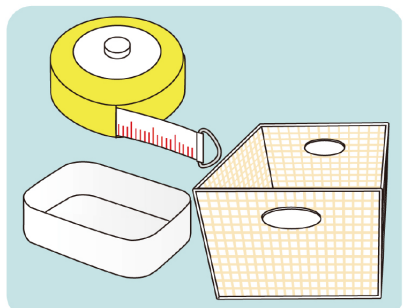
②奥行きに合わせた収納カゴを使って収納。そのまま引き出せば、奥のモノがすぐ取れるので、便利です。



食器棚の奥行きに合わせたカゴを使うと奥まで有効活用でき、カゴに食器をひとまとめにすると準備もスムーズです♪

●用途ごとに分類…食事の時のお茶碗とお椀、お茶用の急須やティーポット、カップといった感じで用途ごとにまとめ、トレイやカゴにまとめて食器棚に入れておくのも便利。使うときにそのまま出せば、スムーズに準備できます。

●引き出し収納は「立てる収納」がおすすめ…上から見るため食器を重ねると下のモノが見えづらく、取りにくい状況に。ファイルケースや立てて



先に収納アイテムを買ったと、サイズや使い勝手が合わず、ムダになることも。ある程度配置を決め、サイズを測ってから必要な分だけ買いましょう。

しまえるディッシュラックを使えば1枚ずつ出し入れしやすいです。

●カトラリーの使用頻度を考えよう…カトラリーは1軍、2軍を決めて分けることで全体の把握がしやすいです。普段使いのお箸は出し入れしやすいところに入れると良いですね。また、重ねられるカゴを使い、上を1軍、下を2軍で分けるのもおすすめです。2軍のモノも期限を決めて使う機会がなければ減らしてみましょう。

頭の体操

間違いさがしゲーム

上下のイラストで違うところが5箇所あります。さあ！チャレンジしてみよう！



答えは裏面をみてね！